

令和 3 年 度

岸和田市貝塚市清掃施設組合  
決 算 審 査 意 見 書

岸和田市貝塚市清掃施設組合監査委員

## 目 次

|     |       |       |    |
|-----|-------|-------|----|
| 第1  | 審査の対象 | ----- | 1  |
| 第2  | 審査の期間 | ----- | 1  |
| 第3  | 審査の方法 | ----- | 1  |
| 第4  | 審査の結果 | ----- | 1  |
| 第5  | 総括意見  | ----- | 1  |
| 1.  | 決算の概要 | ----- | 1  |
| 2.  | 総括意見  | ----- | 2  |
| 第6  | 審査の概況 | ----- | 3  |
| 1.  | 一般会計  | ----- | 3  |
| (1) | 決算状況  | ----- | 3  |
| (2) | 歳入    | ----- | 4  |
| (3) | 歳出    | ----- | 8  |
| 2.  | 財産    | ----- | 12 |
| (1) | 公有財産  | ----- | 12 |
| (2) | 重要物品  | ----- | 13 |

### 注記

- 1 千円単位で表示した金額は百円単位を四捨五入した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
- 2 比率(%)は、小数点第2位を四捨五入した。そのため小計又は合計が内訳と一致しない場合がある。
- 3 各表中の符号の用法は次のとおりである。
  - 「0.0」----- 該当数値はあるが単位未満のもの
  - 「-」----- 該当数値がないもの
  - 「△」----- マイナスのもの

## 令和3年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

令和3年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

令和4年7月26日から令和4年9月30日まで

### 第3 審査の方法

審査に当たっては、一般会計歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書が関係法令に準拠して作成されているか、また、これらの書類の計数は関係諸帳簿、証書類と一致しているかを照査したほか、必要に応じ関係職員の説明を聴取して審査した。

### 第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書及び関係書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿と符合し、その計数は正確であり、予算の執行についてもおおむね適正に運用されているものと認められた。

なお、一般会計の概要及び意見については、以下に述べるとおりである。

### 第5 総括意見

#### 1. 決算の概要

令和3年度の一般会計決算額は歳入3,625,723千円(対前年度比15.6%減)、歳出3,552,519千円(同16.0%減)で歳入歳出差引額の形式収支は73,204千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源である40,665千円を除いた実質収支は32,539千円となっている。

歳入の増減をみると前年度に比べ繰越金で34,777千円(107.3%)増加し、分担金で58,343千円(3.1%)、使用料及び手数料で9,961千円(2.5%)、国庫支出金で118,548千円(37.7%)、諸収入で228,342千円(34.5%)、組合債で288,100千円(28.1%)減少している。

歳出においては、議会費で1千円(0.0%)増加し、総務費で166,484千円(5.2%)、公債費で420,694千円(45.9%)減少となっており、性質別にみると、その他経費で198,918千円(12.1%)増加し、投資的経費で458,613千円(30.9%)、義務的経費で414,844千円(37.8%)減少している。この結果、歳出に占める割合は、義務的経費19.2%、投資的経費28.8%、その他経費52.0%となっている。

決算規模については前年度に比べ減少となっているが、これは主に基幹的設備改良事業で補正を行い事業費を増額したが、補正額全額を翌年度に繰越したため、結果として事業費が減少したこと、また公債費の償還額が減少したことによるものである。

## 2. 総括意見

歳入については使用料及び手数料でごみの搬入量が減少したことにより前年度比 9,961 千円 (2.5%) 減少している。また、諸収入では金属類等売払収入において売払い単価の上昇により前年度比 61,015 千円 (144.0%) 増加したが、電力売払収入において前年度比 79,515 千円 (20.0%)、建物総合損害共済災害共済金 200,000 千円 (皆減) の減少により、諸収入全体としては、前年度より減少となっている。

今後も情報収集・分析や創意工夫により、安定した自主財源を確保することが重要である。

一方、歳出について節別にみると、需用費で前年度比 37,922 千円 (14.1%)、原材料費で前年度比 29,419 千円 (13.2%) 増加し、工事請負費が前年度比 270,236 千円 (16.0%)、償還金が前年度比 508,056 千円 (50.6%) 減少している。

起債の償還については、岸和田市貝塚市クリーンセンター建設にかかる起債の償還が令和 3 年度をもって終了したため、令和 4 年度にはさらに減少となる。

しかし、施設の建屋や設備における経年劣化に対して、施設の長寿命化を図るため取り組んでいる基幹的設備改良事業やクリーンセンター大規模改修事業に係る起債が増大することや定期整備に係る起債の増加により、令和 5 年度以降償還額が増加傾向に転じることが見込まれる。

組合においては、クリーンセンターの安定した運営を堅持しつつ、「最少の経費で最大の効果」の実現に向け、施設長寿命化事業により増加する歳出への積極的な抑制の取組みや、起債の活用による歳出の平準化、国庫補助金関連の情報収集に努めるとともに自主財源の確保に引き続き努められたい。

また、一般廃棄物行政全般に係る課題については、必要に応じ岸和田市・貝塚市と連携を図り、一般廃棄物中間処理事業の安心・安全かつ円滑な遂行に十分配慮され、快適な市民生活のための環境保持に寄与されるよう切に望むものである。

## 第6 審査の概況

### 1. 一般会計

#### (1) 決算状況

(単位：円)

|          |               |
|----------|---------------|
| 歳入歳出予算現額 | 5,161,566,000 |
| 歳入決算額    | 3,625,723,405 |
| 歳出決算額    | 3,552,519,030 |
| 歳入歳出差引残額 | 73,204,375    |

当年度の決算状況は、予算現額 5,161,566 千円に対し、歳入 3,625,723 千円(対前年度比 15.6%減)、歳出 3,552,519 千円(同 16.0%減)で、歳入歳出差引額の形式収支は 73,204 千円となり、翌年度へ繰越すべき財源 40,665 千円を除いた実質収支は 32,539 千円で、単年度収支は△2,644 千円となっている。

過去5年間における決算状況は、次表のとおりである。

(単位：円)

| 区分<br>年度 | 決 算 額         |               | 形式収支               | 翌年度へ繰越<br>すべき財源(D) | 実質収支<br>(C) - (D) | 単年度収支<br>(当該年度実質収支 -<br>前年度実質収支) |
|----------|---------------|---------------|--------------------|--------------------|-------------------|----------------------------------|
|          | 歳入 (A)        | 歳出 (B)        | (A) - (B) =<br>(C) |                    |                   |                                  |
| 3        | 3,625,723,405 | 3,552,519,030 | 73,204,375         | 40,665,000         | 32,539,375        | △2,643,865                       |
| 2        | 4,294,241,222 | 4,227,057,982 | 67,183,240         | 32,000,000         | 35,183,240        | 2,776,732                        |
| 元        | 4,112,192,607 | 4,079,786,099 | 32,406,508         | 0                  | 32,406,508        | △7,641,986                       |
| 30       | 3,611,040,741 | 3,565,859,247 | 45,181,494         | 5,133,000          | 40,048,494        | 6,400,437                        |
| 29       | 3,844,390,086 | 3,810,742,029 | 33,648,057         | 0                  | 33,648,057        | 2,948,117                        |

## (2) 歳入

(単位：円)

|       | 3年度           | 2年度           |
|-------|---------------|---------------|
| 予算現額  | 5,161,566,000 | 4,812,482,000 |
| 調定額   | 3,625,723,405 | 4,294,241,222 |
| 収入済額  | 3,625,723,405 | 4,294,241,222 |
| 不納欠損額 | 0             | 0             |
| 収入未済額 | 0             | 0             |

当年度の歳入は、予算現額 5,161,566 千円に対し、調定額、収入済額ともに 3,625,723 千円となり、前年度に比べ 668,518 千円(15.6%)減少している。

増加したものは、繰越金で 34,777 千円(107.3%)である。

減少したものは、分担金で 58,343 千円(3.1%)、使用料及び手数料で 9,961 千円(2.5%)、国庫支出金で 118,548 千円(37.7%)、諸収入で 228,342 千円(34.5%)、組合債で 288,100 千円(28.1%)である。

財源別では、自主財源は 2,694,568 千円(構成比 74.3%)で、前年度に比べ 261,870 千円(8.9%)減少し、依存財源は 931,155 千円(構成比 25.7%)で、こちらも前年度に比べ 406,648 千円(30.4%)減少している。

款別歳入決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

| 区分<br>款別     | 3年度           |               |               | 収入率   |       | 構成<br>比率 | 2年度           | 構成<br>比率 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|-------|-------|----------|---------------|----------|
|              | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 対予算現額 | 対調定額  |          | 収入済額          |          |
| 分担金          | 2,327,807,000 | 1,807,807,000 | 1,807,807,000 | 77.7  | 100.0 | 49.9     | 1,866,150,000 | 43.5     |
| 使用料及び<br>手数料 | 357,250,000   | 386,606,170   | 386,606,170   | 108.2 | 100.0 | 10.7     | 396,567,380   | 9.2      |
| 国庫<br>支出金    | 481,402,000   | 195,555,000   | 195,555,000   | 40.6  | 100.0 | 5.4      | 314,103,000   | 7.3      |
| 繰越金          | 32,001,000    | 67,183,240    | 67,183,240    | 209.9 | 100.0 | 1.9      | 32,406,508    | 0.8      |
| 諸収入          | 308,506,000   | 432,971,995   | 432,971,995   | 140.3 | 100.0 | 11.9     | 661,314,334   | 15.4     |
| 組合債          | 1,654,600,000 | 735,600,000   | 735,600,000   | 44.5  | 100.0 | 20.3     | 1,023,700,000 | 23.8     |
| 計            | 5,161,566,000 | 3,625,723,405 | 3,625,723,405 | 70.2  | 100.0 | 100.0    | 4,294,241,222 | 100.0    |

各款別について決算内容は、以下のとおりである。

### 第1款 分担金

(単位：円、%)

| 区分<br>年度 | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>増減額   | 収入率   |
|----------|---------------|---------------|---------------|-----------|-----------|--------------|-------|
| 3        | 2,327,807,000 | 1,807,807,000 | 1,807,807,000 | 0         | 0         | △520,000,000 | 100.0 |
| 2        | 2,536,050,000 | 1,866,150,000 | 1,866,150,000 | 0         | 0         | △669,900,000 | 100.0 |
| 増減       | △208,243,000  | △58,343,000   | △58,343,000   | 0         | 0         | 149,900,000  |       |

予算現額 2,327,807 千円に対し、調定額、収入済額ともに 1,807,807 千円となり、前年度に比べ 58,343 千円(3.1%)減少している。

収入済額の内訳は、岸和田市分担金 1,183,029 千円、貝塚市分担金 624,778 千円である。

分担金の決算額は、歳出から他の歳入を差し引いた額により決定するものであり、歳入では、金属類等売払い収入などの自主財源や国庫補助金の確保に努め、歳出では、建設事業においての入札差金の発生、基幹的設備改良事業やクリーンセンター大規模改修事業の繰越などで費用減少したことによって、予算現額に対し△520,000 千円となっている。

### 第2款 使用料及び手数料

(単位：円、%)

| 区分<br>年度 | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>増減額 | 収入率   |
|----------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|------------|-------|
| 3        | 357,250,000 | 386,606,170 | 386,606,170 | 0         | 0         | 29,356,170 | 100.0 |
| 2        | 369,762,000 | 396,567,380 | 396,567,380 | 0         | 0         | 26,805,380 | 100.0 |
| 増減       | △12,512,000 | △9,961,210  | △9,961,210  | 0         | 0         | 2,550,790  |       |

予算現額 357,250 千円に対し、調定額、収入済額ともに 386,606 千円となり、前年度に比べ 9,961 千円(2.5%)減少している。

これは、ごみの搬入量が令和2年度に比べ減少したことによるものである。

収入済額の内訳は、使用料 1,815 千円、手数料 384,791 千円である。

### 第3款 国庫支出金

(単位：円、%)

| 区分<br>年度 | 予算現額        | 調定額          | 収入済額         | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>増減額   | 収入率   |
|----------|-------------|--------------|--------------|-----------|-----------|--------------|-------|
| 3        | 481,402,000 | 195,555,000  | 195,555,000  | 0         | 0         | △285,847,000 | 100.0 |
| 2        | 242,349,000 | 314,103,000  | 314,103,000  | 0         | 0         | 71,754,000   | 100.0 |
| 増減       | 239,053,000 | △118,548,000 | △118,548,000 | 0         | 0         | △357,601,000 |       |

予算現額 481,402 千円に対し、収入済額が 195,555 千円となり、前年度に比べ 118,548 千円 (37.7%) 減少している。これは、令和3年度補正の基幹的設備改良事業を全て令和4年度へ明許繰越したことによって、事業費が減少したことによるものである。

### 第4款 繰越金

(単位：円、%)

| 区分<br>年度 | 予算現額       | 調定額        | 収入済額       | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>増減額 | 収入率   |
|----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-------|
| 3        | 32,001,000 | 67,183,240 | 67,183,240 | 0         | 0         | 35,182,240 | 100.0 |
| 2        | 1,000      | 32,406,508 | 32,406,508 | 0         | 0         | 32,405,508 | 100.0 |
| 増減       | 32,000,000 | 34,776,732 | 34,776,732 | 0         | 0         | 2,776,732  |       |

予算現額 32,001 千円に対し、調定額、収入済額ともに 67,183 千円となり、前年度に比べ 34,777 千円 (107.3%) 増加している。

これは、主にクリーンセンター大規模改修事業の継続費通次繰越金 32,000 千円が繰越されたことによるものである。



## 第5款 諸収入

(単位：円、%)

| 区分<br>年度 | 予算現額        | 調定額          | 収入済額         | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>増減額   | 収入率   |
|----------|-------------|--------------|--------------|-----------|-----------|--------------|-------|
| 3        | 308,506,000 | 432,971,995  | 432,971,995  | 0         | 0         | 124,465,995  | 100.0 |
| 2        | 351,420,000 | 661,314,334  | 661,314,334  | 0         | 0         | 309,894,334  | 100.0 |
| 増減       | △42,914,000 | △228,342,339 | △228,342,339 | 0         | 0         | △185,428,339 |       |

予算現額 308,506 千円に対し、調定額、収入済額ともに 432,972 千円となり、前年度に比べ 228,342 千円(34.5%)減少している。

主な理由としては、前年度に比べ金属類等売払い収入は売払い単価の上昇により増加したが、発電量の減少と売払い単価の減少により電力売払収入が減少したことと、令和2年度は建物総合損害共済災害共済金 200,000 千円の収入があったことによるものである。

収入済額の内訳としては、金属類等売払収入 103,374 千円、電力売払収入 319,014 千円、ペットボトル売払収入 9,559 千円、その他雑収入 1,025 千円である。

## 第6款 組合債

(単位：円、%)

| 区分<br>年度 | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>増減額   | 収入率   |
|----------|---------------|---------------|---------------|-----------|-----------|--------------|-------|
| 3        | 1,654,600,000 | 735,600,000   | 735,600,000   | 0         | 0         | △919,000,000 | 100.0 |
| 2        | 1,312,900,000 | 1,023,700,000 | 1,023,700,000 | 0         | 0         | △289,200,000 | 100.0 |
| 増減       | 341,700,000   | △288,100,000  | △288,100,000  | 0         | 0         | △629,800,000 |       |

予算現額 1,654,600 千円に対し、調定額、収入済額ともに、735,600 千円となり、前年度に比べ 288,100 千円(28.1%)減少している。

これは、主に基幹的設備改良事業やクリーンセンター大規模改修事業の繰越に伴い、起債額が減少したことによるものである。

収入済額の内訳としては、大阪湾圏域広域処理場整備委託事業債 5,600 千円、ごみ処理施設増設事業債 235,500 千円、ごみ処理施設基幹的設備改良事業債 366,200 千円、クリーンセンター大規模改修事業債 128,300 千円である。

## (3) 歳 出

(単位：円)

|         | 3年度           | 2年度           |
|---------|---------------|---------------|
| 予 算 現 額 | 5,161,566,000 | 4,812,482,000 |
| 支 出 済 額 | 3,552,519,030 | 4,227,057,982 |
| 翌年度繰越額  | 1,227,712,000 | 320,000,000   |
| 不 用 額   | 381,334,970   | 265,424,018   |

当年度の歳出は、予算現額5,161,566千円に対し、支出済額は3,552,519千円(執行率68.8%)となり、前年度に比べ674,539千円(16.0%)減少している。

不用額381,335千円の内訳は、主に総務費における365,654千円である。

支出済額を款別にみると、議会費2,519千円(構成比0.1%)、総務費3,054,371千円(同86.0%)、公債費495,629千円(同14.0%)である。前年度に比べ議会費で1千円(0.0%)の増加に対し、総務費で166,484千円(5.2%)、公債費で420,694千円(45.9%)の減少となっている。

節別に前年度と比較してみると、主に需用費37,922千円(14.1%)、原材料費29,419千円(13.2%)の増加に対し、償還金利子及び割引料508,056千円(50.6%)、工事請負費270,236千円(16.0%)の減少となっている。

款別歳出決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

| 区分<br>款別   | 3 年 度         |               |      |               | 2 年 度         | 支出済額<br>増 減  | 支出済額<br>構成比率 |         |
|------------|---------------|---------------|------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------|
|            | 予 算 現 額       | 支 出 済 額       | 執行率  | 翌年度<br>繰越額    | 支出済額          |              | 3<br>年度      | 2<br>年度 |
| 議会費        | 3,653,000     | 2,519,188     | 69.0 | 0             | 2,518,029     | 1,159        | 0.1          | 0.1     |
| 総務費        | 4,647,737,000 | 3,054,370,968 | 65.7 | 1,227,712,000 | 3,220,854,723 | △166,483,755 | 86.0         | 76.2    |
| 公債費        | 507,176,000   | 495,628,874   | 97.7 | 0             | 916,323,230   | △420,694,356 | 14.0         | 21.7    |
| 予備費        | 3,000,000     | 0             | 0.0  | 0             | 0             | 0            | 0.0          | 0.0     |
| 諸 支<br>出 金 | —             | —             | —    | —             | 87,362,000    | △87,362,000  | —            | 2.1     |
| 計          | 5,161,566,000 | 3,552,519,030 | 68.8 | 1,227,712,000 | 4,227,057,982 | △674,538,952 | 100.0        | 100.0   |

性質別歳出決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

| 区 分   |         | 3 年 度         |       | 2 年 度         |       | 増減額          | 増減率   |
|-------|---------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|-------|
|       |         | 決 算 額         | 構 成 比 | 決 算 額         | 構 成 比 |              |       |
| 義務的経費 | 人 件 費   | 185,013,152   | 5.2   | 179,078,015   | 4.2   | 5,935,137    | 3.3   |
|       | 扶 助 費   | 875,000       | 0.0   | 960,000       | 0.0   | △85,000      | △8.9  |
|       | 公 債 費   | 495,628,874   | 14.0  | 916,323,230   | 21.7  | △420,694,356 | △45.9 |
|       | 計       | 681,517,026   | 19.2  | 1,096,361,245 | 25.9  | △414,844,219 | △37.8 |
| 投資的経費 | 普通建設事業費 | 1,023,290,249 | 28.8  | 1,477,958,104 | 35.0  | △454,667,855 | △30.8 |
|       | 災害復旧事業費 | —             | —     | 3,945,000     | 0.1   | △3,945,000   | 皆減    |
|       | 計       | 1,023,290,249 | 28.8  | 1,481,903,104 | 35.1  | △458,612,855 | △30.9 |
| その他経費 | 物 件 費   | 1,173,720,170 | 33.0  | 1,093,608,645 | 25.9  | 80,111,525   | 7.3   |
|       | 維持補修費   | 668,992,771   | 18.8  | 462,925,177   | 11.0  | 206,067,594  | 44.5  |
|       | 補 助 費 等 | 4,998,814     | 0.1   | 92,259,811    | 2.2   | △87,260,997  | △94.6 |
|       | 計       | 1,847,711,755 | 52.0  | 1,648,793,633 | 39.0  | 198,918,122  | 12.1  |
| 歳出合計  |         | 3,552,519,030 | 100.0 | 4,227,057,982 | 100.0 | △674,538,952 | △16.0 |

義務的経費は、681,517千円で、前年度に比べ414,844千円(37.8%)減少している。

これは、主に公債費で420,694千円(45.9%)減少したためである。

投資的経費は、1,023,290千円で前年度に比べ458,613千円(30.9%)減少している。

これは、主に基幹的設備改良事業費が減少したことによるものである。

その他の経費は、1,847,712千円で、前年度に比べ198,918千円(12.1%)増加している。

これは、主に維持補修費で206,068千円(44.5%)増加したことによるもので、施設の経年劣化に対応した補修等を行ったためである。

各款別について決算内容は、以下のとおりである。

### 第1款 議会費

(単位：円、%)

| 区分<br>年度 | 予 算 現 額   | 支 出 済 額   | 翌年度繰越額 | 不 用 額     | 執行率  |
|----------|-----------|-----------|--------|-----------|------|
| 3        | 3,653,000 | 2,519,188 | 0      | 1,133,812 | 69.0 |
| 2        | 3,652,000 | 2,518,029 | 0      | 1,133,971 | 68.9 |
| 増 減      | 1,000     | 1,159     | 0      | △159      |      |

予算現額3,653千円に対し、支出済額は2,519千円(執行率69.0%)となり、前年度に比べ1千円(0.0%)増加している。

### 第2款 総務費

(単位：円、%)

| 区分<br>年度 | 予 算 現 額       | 支 出 済 額       | 翌年度繰越額        | 不 用 額       | 執行率  |
|----------|---------------|---------------|---------------|-------------|------|
| 3        | 4,647,737,000 | 3,054,370,968 | 1,227,712,000 | 365,654,032 | 65.7 |
| 2        | 3,794,803,000 | 3,220,854,723 | 320,000,000   | 253,948,277 | 84.9 |
| 増 減      | 852,934,000   | △166,483,755  | 907,712,000   | 111,705,755 |      |

予算現額4,647,737千円に対し、支出済額は3,054,371千円(執行率65.7%)となり、前年度に比べ166,484千円(5.2%)減少している。

これは、主に基幹的設備改良事業費が減少したことによるものである。

支出済額の主なものは、需用費306,247千円(構成比10.0%)、委託料853,172千円(同27.9%)、工事請負費1,422,937千円(同46.6%)、原材料費253,093千円(同8.3%)である。

### 第3款 公債費

(単位：円、%)

| 区分<br>年度 | 予 算 現 額      | 支 出 済 額      | 翌年度繰越額 | 不 用 額      | 執行率  |
|----------|--------------|--------------|--------|------------|------|
| 3        | 507,176,000  | 495,628,874  | 0      | 11,547,126 | 97.7 |
| 2        | 923,665,000  | 916,323,230  | 0      | 7,341,770  | 99.2 |
| 増 減      | △416,489,000 | △420,694,356 | 0      | 4,205,356  |      |

予算現額 507,176 千円に対し、支出済額は 495,629 千円(執行率 97.7%)となり、前年度に比べ 420,694 千円(45.9%)減少している。

これは、主にクリーンセンター建設に係る起債の償還が前年度に一部終了したことによるものである。

支出済額の内訳は、元金 487,873 千円(構成比 98.4%)、利子 7,756 千円(同 1.6%)である。

組合債の前年度末未償還額は 2,831,745 千円で、当年度は 735,600 千円を借入れ、487,873 千円を償還した結果、当年度末未償還額は 3,079,472 千円となっている。

### 第4款 予備費

当初予算額 3,000 千円であるが、充用額はない。

## 2. 財 産

### (1) 公有財産

#### ア 土 地

(単位：㎡)

| 区分<br>年度 | 行政財産       | 普通財産 | 計          |
|----------|------------|------|------------|
| 3        | 142,337.09 | 0    | 142,337.09 |
| 2        | 142,337.09 | 0    | 142,337.09 |
| 増 減      | 0          | 0    | 0          |

前年度末と同様で増減はない。

#### イ 建 物

(単位：㎡)

| 区分<br>年度 | 行政財産      | 普通財産 | 計         |
|----------|-----------|------|-----------|
| 3        | 53,863.98 | 0    | 53,863.98 |
| 2        | 53,863.98 | 0    | 53,863.98 |
| 増 減      | 0         | 0    | 0         |

前年度末と同様で増減はない。

(2) 重要物品

決算年度末の現在高は、次表のとおりである。

(単位：台)

| 区 分      | 前年度末現在高 | 決算年度中増減高 | 決算年度末現在高 |
|----------|---------|----------|----------|
| 机・卓子類    | 6       | 0        | 6        |
| いす類      | 3       | 0        | 3        |
| 箱類       | 1       | 0        | 1        |
| 事務用機械器具類 | 12      | 0        | 12       |
| 計器類      | 35      | △2       | 33       |
| 機械類      | 1,612   | △3       | 1,609    |
| 工具類      | 22      | 0        | 22       |
| 車両類      | 12      | 0        | 12       |
| 標本模型類    | 10      | 0        | 10       |
| 雑具類      | 15      | 0        | 15       |
| 計        | 1,728   | △5       | 1,723    |

取得価格 50 万円以上の重要物品の当年度末現在高は 1,723 台である。